

令和8年10月3日

各高等学校長 殿

山形県柔道連盟会長 黒田 一彦
山形県高等学校体育連盟
柔道専門部長 栗原 裕俊
<公印省略>

第49回全国高等学校柔道選手権山形県予選大会の開催について

日頃より山形県柔道競技の強化・普及・発展にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
さて、標記のことにつきまして、下記のとおり開催いたしますので、貴校生徒の参加についてよろしくお願い致します。

記

- 1 主 催 山形県柔道連盟
- 2 共 催 山形県高等学校体育連盟
- 3 主 管 山形県高等学校体育連盟柔道専門部 上山市柔道連盟
- 4 後 援 上山市 上山市教育委員会
- 5 期 日 11月28日(土) 10時00分～10時50分 計量(男女個人選手)
11時00分～ 審判・監督会議(個人試合)
11時40分～ 開会式(個人・団体選手・監督出席)
12時00分～ 柔道着コントロール
12時10分～ 男女個人試合 ～表彰式
11月29日(日) 8時30分～9時00分 計量(女子団体変更選手)
9時00分～ 審判・監督会議(団体試合)
9時20分～ 柔道着コントロール
9時30分～ 男女団体試合 ～閉会式
- 6 会 場 上山市体育文化センター 〒999-3241 上山市けやきの森2-1 TEL. 023-673-2288
- 7 競技規則
(1) 試合は「国際柔道連盟試合審判規程」および(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
①団体試合
ア試合時間は3分とする。
イ「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。
ウチームの内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「8 競技方法」で定める。
②個人試合
ア試合時間は3分とする。
イ「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。
ウ試合終了時に得点差がない場合、もしくは「指導」差が1以下は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
(2) 柔道衣コントロールは一斉に行う。試合中に違反が発覚した場合は、「反則負け」となる。
- 8 競技方法
(1) 団体試合
(ア) 男子の部
①試合はトーナメント戦で行う。
②各チーム5名で行い、試合毎にオーダーの変更を認める。5人未満の場合は後ろ詰めとする。
③「点取り試合」とし、内容が同等の場合は、代表選手を任意で選出して代表戦を行う。代表戦の優勢勝ちの判定基準は「有効」以上または「僅差」(「指導」差2)とし、試合終了時に得点差がない場合、もしくは「指導」差が1以下の場合、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
(イ) 女子の部
①試合はトーナメント法で実施する。3人未満の場合は後ろ詰めとする。
②体重別とし、先鋒52kg以下、中堅63kg以下、大将無差別の3名で行う。試合ごとのオーダー変更は行わない。

- ③「点取り試合」とし、勝敗の内容が同じ場合は代表戦を行う。代表戦はゴールデンスコア方式で行い、「有効」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。ただし本戦でのスコアは引き継がれない。また、代表戦は引き分け対戦の中から抽選で選出し、引き分け対戦がない場合は、両者反則負けで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。引き分けも両者反則負けもない場合などは、残りの全ての対戦から抽選で対戦を選出して試合を行う。

(2) 個人試合

(ア) 試合はトーナメント戦で行う。

(イ) 階級は下記の男女5階級とする。

男子：60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・無差別

女子：48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・無差別

(ウ) 無段の部は下記の男女2階級とする。

男子：73kg以下級・73kg超級

女子：57kg以下級・57kg超級

9 参加資格

- (1) 県高体連に加盟している高等学校生徒で、県高体連柔道部及び全柔連に登録されていること。
- (2) 2008年4月2以降に生まれた者（2026年4月2日現在で18歳未満であり、第1・2学年に在籍）であり、同学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成において、全日制、定時制、通信制の生徒による混合は認めない。
- (4) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。（外国人留学生もこれに準ずる。）ただし、一家転住等の理由により止むを得ない場合は、県高体連会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 選手は学校長の責任において参加させ、特に支障のある者は参加させない。
- (6) 外国人留学生については、卒業を目的として入学していること。（短期留学生は認めない。）
- (7) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (8) 無段の部に出場する選手は、登録後6ヶ月以上かつ練習期間が6ヶ月以上経過しているものに限る。

10 参加制限

(1) 男子団体試合

① オープン参加とし、各校1チームとする。

② チームの編成は監督1名、選手7名、マネージャー1名の計9名とし、試合の選手は3名以上いなければならない。

(2) 女子団体試合

① オープン参加とし、各校1チームとする。

② チームの編成は監督1名、選手5名、マネージャー1名の計7名とし、試合の選手は2名以上いなければならない。

(3) 個人試合

① オープン参加とし、各校から同一階級に出場できる選手は4名までとする。

② 無段の部は東北大会への出場は在学中1回のみとするが、県大会への出場はこれに該当しない。

11 参加申込

- (1) 「公印のある参加申込書」をPDFにし、10月30日（金）まで、「各地区理事」宛に提出すること。

12 参加料

- ・試合出場者1名につき1,500円とする。団体個人両方出場した場合でも1名1,500円とする。
- ・参加料は下記口座へ10月30日（金）まで振り込むこと。ただし、手数料は各校負担とする。

山形銀行 県庁支店 普通口座 口座番号3103277

「ムラヤマチクコウタイレンジュウドウセンモンブ

13 組合せ

- (1) 男女団体個人試合とも、次のとおりとする。

① 県新人大会ベスト4（1位が第1シード、2位が第2シード、勝ち3位が第3シード、負け3位が第4シード）

② 同一校から2名以上出場の場合は、少なくとも準決勝まで対戦しないように配慮する。

③ 県新人戦ベスト8（男女無差別はのぞく）

④ 同地区が各ブロックに、バランスよく入るように配慮する。

* 出場チーム・出場者が少ない場合は、上記事項があてはまらないこともある。

- (2) 組合せ抽選日；予定 11月10日（火） 村山産業高校 各地区理事による表抽選とする。

- (3) 決定した組合せについては各校顧問に連絡する期日までに、各地区理事に異議などの申し立てを行うこと。それ以降の申し立ては受け付けない

14 連絡事項

- (1) 団体試合の選手変更については、届出用紙を用いて2日目審判・監督会議開始前までに学校受付に提出すること。選手の変更は1名までとする。ただし、けがや感染症等でやむを得ず選手変更が必要な場合は、届出用紙の他にその事由がわかる診断書等を添付することで、追加で1名の変更を可能とする。
- (2) 団体試合に出場する学校は、各校で掲示用オーダー表を準備し、2日目監督会議前にオーダー用紙と共に提出すること。男子はB4サイズの用紙を横3等分にし、学校名、選手6名分の名前を記入(計7枚)し、角封筒に入れて提出すること。女子は模造紙縦1/4(27cm)にて、右より縦書き(巾約13cm)学校名、大将、中堅の順(副将、次鋒をあける)に選手名を記入し、角封筒に入れて提出すること。
- (3) 団体チーム及び個人の監督は、男女が同一にならないようにすること。
- (4) 男女団体の昨年の優勝校は、優勝旗・優勝杯を持参し返還すること。また、個人優勝者の学校は、優勝杯を持参し、返還すること。

15 その他

- ・団体男女、個人とも3位まで表彰する。
- ・団体男女とも優勝したチームが、来年3月27日(土)日本武道館での全国大会への出場権を得る。
- ・各階級男女とも優勝した選手が、来年3月28日(日)日本武道館での全国大会への出場権を得る。
- ・男女団体戦上位4チームが、来年1月23日(土)の東北大会への出場権を得る。
- ・男子個人戦各階級上位4名、女子個人戦各階級上位2名が、来年1月24日(日)の東北大会出場権を得る。
※個人で出場権を得た者が、怪我等で棄権する場合は、その事実が判明次第早急に地区理事に連絡すること。代替え選手については別途審議のうえ決定する。(基本的に同校の選手変更は認めない)
- ・無段の部は東北高体連柔道専門部企画のため、各階級上位2名が来年1月23日(土)の東北大会への出場権だけを得る。(無段の部の全国大会は開催されない)
- ・途中棄権する場合は、競技委員長に申し出ること。